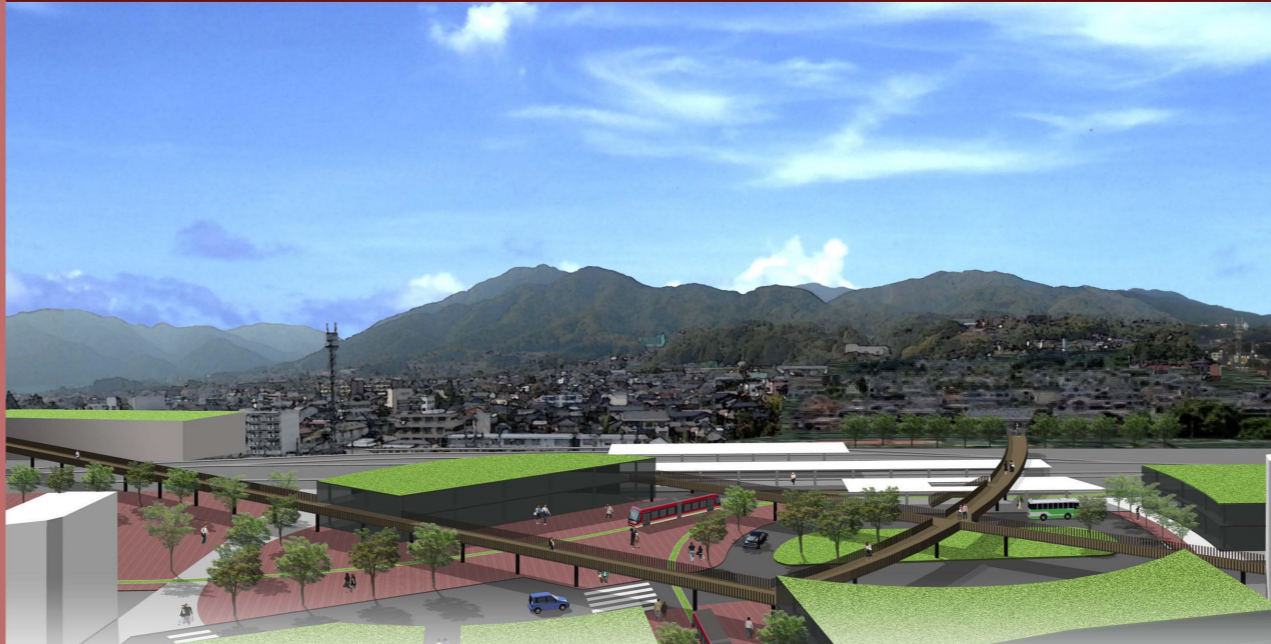


《本町への入口周辺の修景》
琴平神社や烏山稲荷・昔からの酒舗や蔵造りを生かした店構えの喫茶店などが残るこの地域は、南信州の小京都飯田の風情を今に伝えます。



《交通結節点となるJR飯田駅前》
LRTから飯田線・路線バスと同一ホーム上で乗り換える事が可能となり、リニア新幹線への連携を図ります。立体駐車場を整備し、中央通りの商店街やりんご並木でショッピングや散策が楽しめる環境を整備します。



《中央通りからの風越山の眺望に配慮》
中央通りは歩行者とLRTに限定したトランジットモールとします。再開発店舗は2階建に抑え、駅前の広がりや風越山の眺望を確保します。



《本町一飯田城址へ続く門前通り》
本町は石畳敷きの歩行者用道路を整備し、飯田城址へ続く門前通りとしての位置付けを行います。



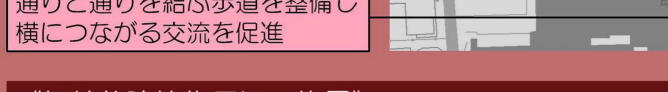
駅西駐車場を立体化し、駅前に車を停め中心市街地を訪れられるように
駅前賑わいに向け裏界線の存在をアピールするように、遊歩道を整備
駅西広場側に連絡するデッキウォークを整備



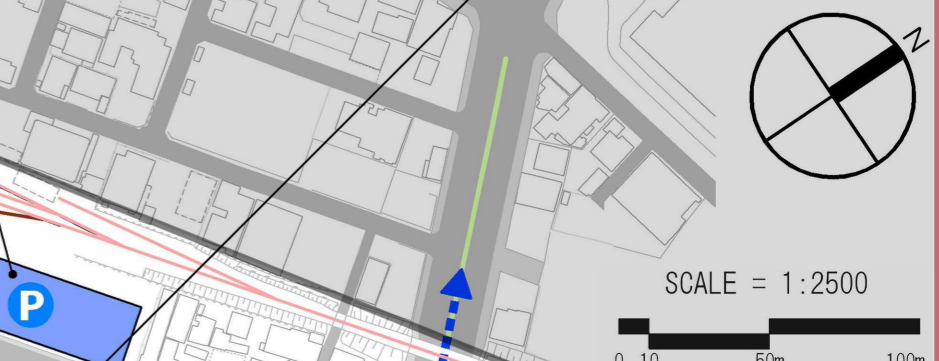
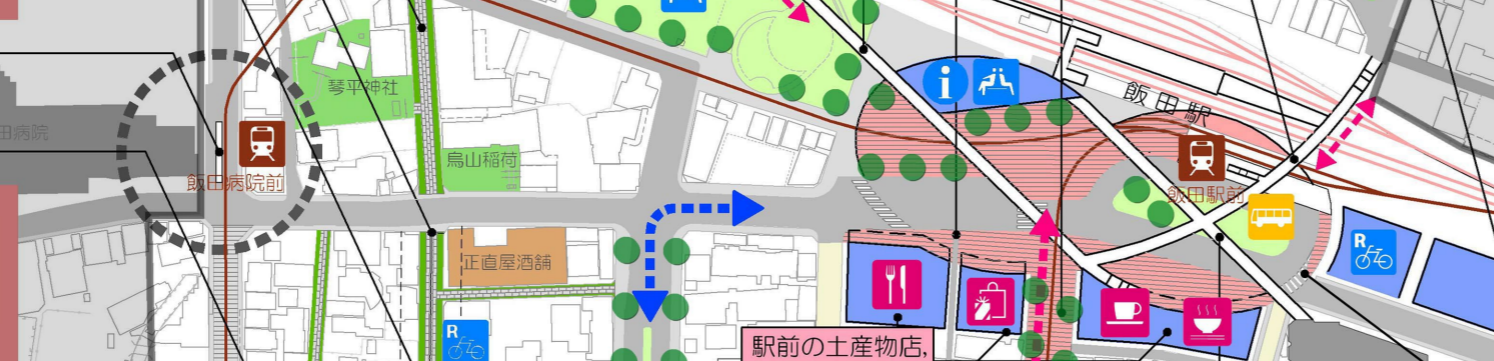
《バル街の風情が漂うユニー通り》
飯田駅に近いユニー通りでは周辺の飲食店と連携し、バルイベントや街コンを行います。駐車場をイベントスペースとして活用し、蔵をバックにライブが行われます。



LRTにより車が運転できない高齢者でも病院通いが容易に
通りと通りを結び歩道を整備し横につながる交流を促進

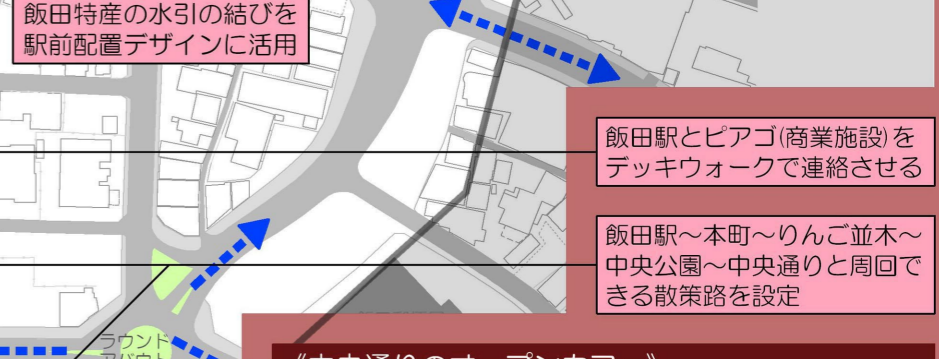


《伝統的建築物周辺の修景》
住民用の駐車場を奥に集約すると共に、観光客や住民が利用できるポケットパークを整備します。

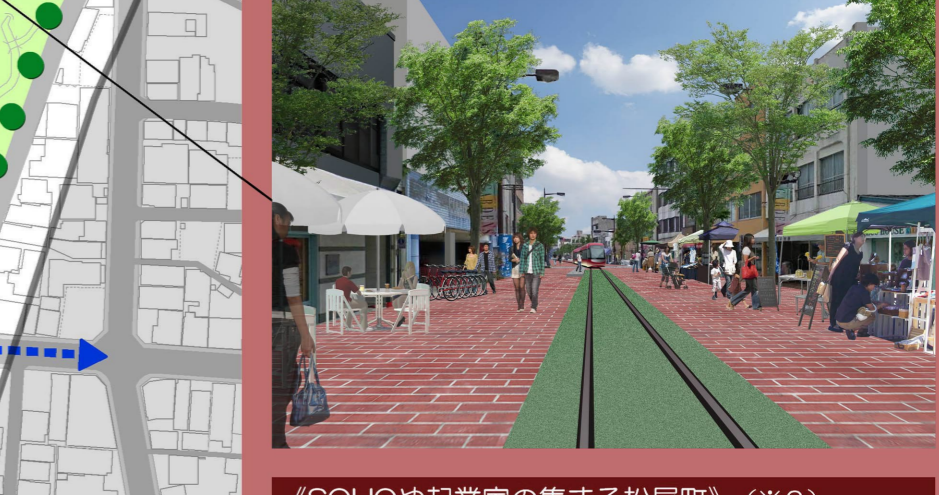


飯田駅とピアゴ(商業施設)をデッキウォークで連絡させる
飯田駅～本町～りんご並木～中央公園～中央通りと周回できる散策路を設定

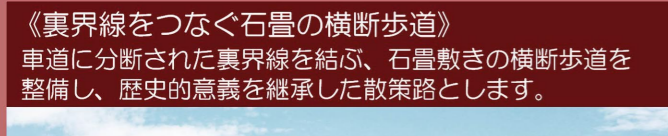
《知久町商店街の活性化》
車道を歩行者に開放すると共に、空店舗をクラフトショップやギャラリーに転用し来街者を呼び込みます。



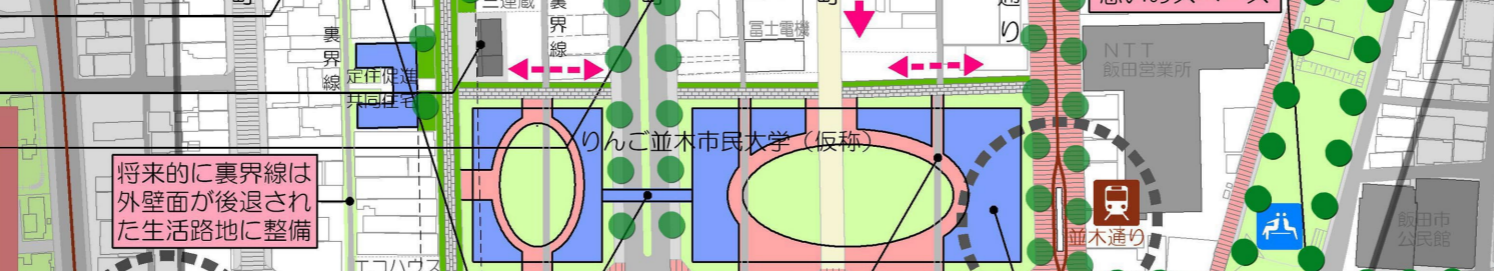
《中央通りのオープンカフェ》
特例道路占用制度を活用し、通り上にオープンカフェや露店・屋外販売店舗を設け、にぎわいを創出します。



駐車場の道路に面した部分の緑化を促進(道路中心より10m)
三連蔵を本町通り沿いへ移築



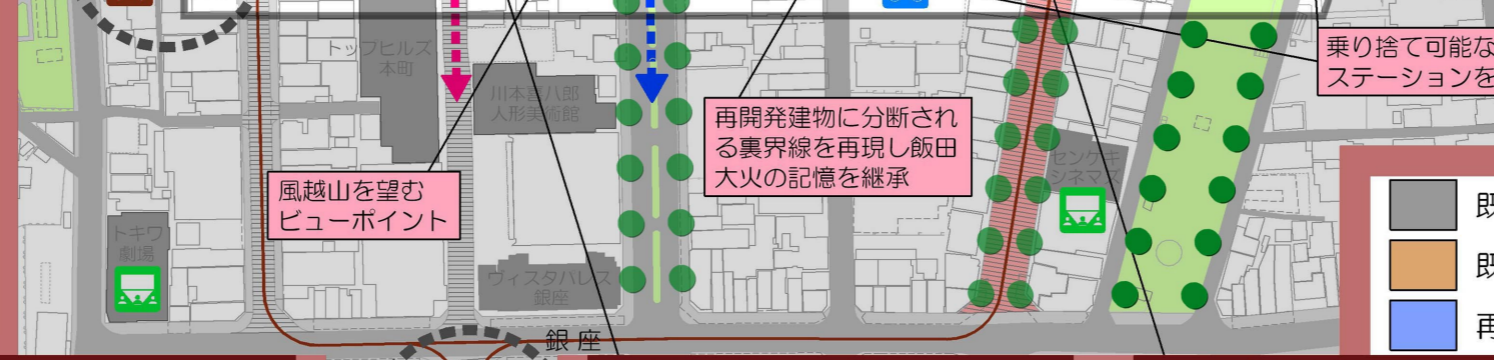
《裏界線をつなぐ石畳の横断歩道》
車道に分離された裏界線を結び、石畳敷きの横断歩道を整備し、歴史的意義を継承した散策路とします。



《SOHOや起業家の集まる松尾町》(※2)
飯田駅や金融機関に近い松尾町は、SOHOや起業家など職住一体の小規模ベンチャー企業などを誘致します。



将来的に裏界線は外壁面が後退された生活路地に整備
再開発建つに分離される裏界線を再現し飯田大火の記憶を継承

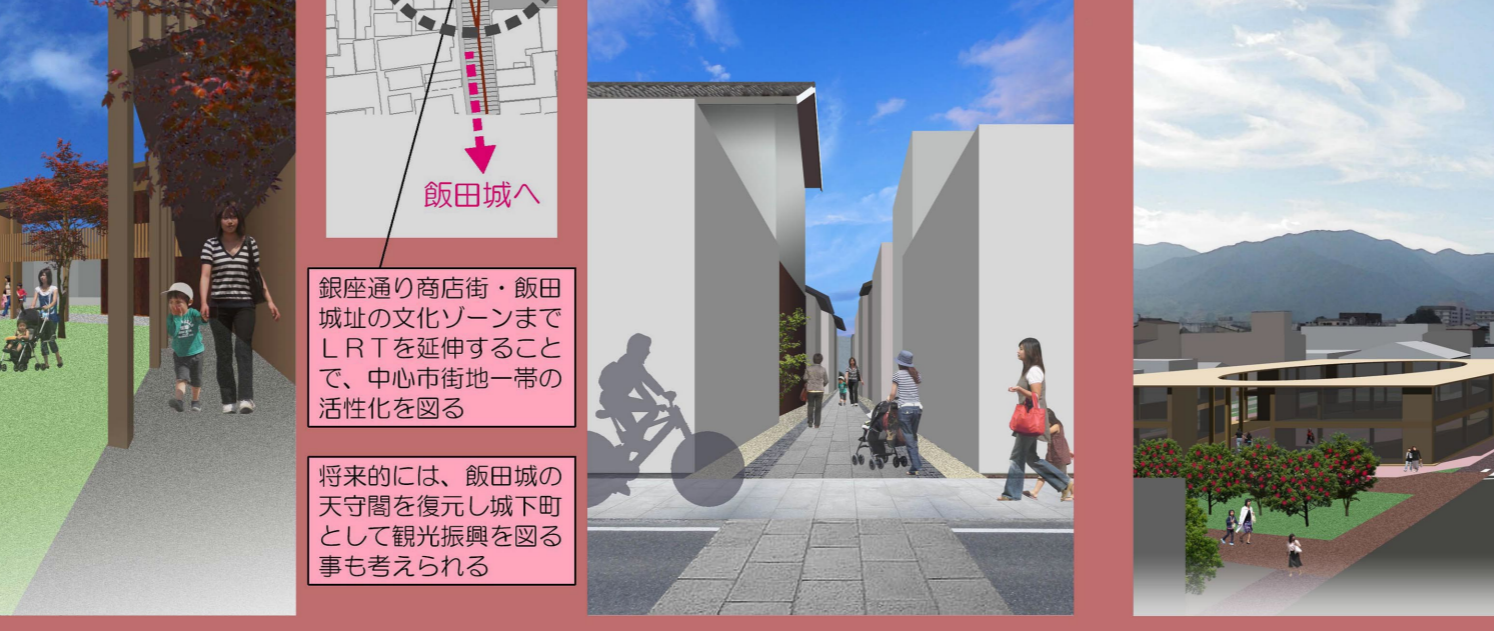


この地図は、飯田市所管の2500分の1飯田市都市計画基本図を使用して作成したものである。(承認番号)26飯地計第203号

《裏界線に面した定住促進用共同住宅》(※1)
裏界線に面して中庭を設けることで、子供が安心して遊べるスペースが確保されると共に、裏界線が生まれた目的である防火・防災の機能を補完します。



《裏界線の幅の促進》
裏界線のみならず接する建築物を可能とし建替による定住と裏界線の路地活用を促進



《りんご並木周辺に市民の学びの場所を整備》
並木通り沿いに「りんご並木市民大学(仮称)」を整備し、市民が生涯を通じて学べ、創作・文化活動を通して交流できる場所にします。都会から飯田へのU・Iターンの促進活動の拠点にもなります。



銀座通り商店街・飯田城址の文化ゾーンまでLRTを延伸することで、中心市街地一帯の活性化を図る
将来的には、飯田城の天守閣を復元し城下町として観光振興を図る事も考えられる

